

協働型・業務情報システムと その活用の提案

2009年度 大学職員情報化研究講習会

A班 第5グループ アクションプラン

現状: 部課内・学内での他の業務への無関心

各々が自身の業務以外には関与せず
担当外の仕事をしない

- ・モチベーションが低い
- ・ガイドとなるものがない
- ・それでも何とかなっていた

変化がなかった

しかし現在…

↓

<環境の変化>

- ・法・条例
- ・少子化
- ・異動

現状：部課内・学内での他の業務への無関心

そこで…



あるレベルまでは受けた人が処理する



その後は、各担当者が対応する
という流れをつくる

問題解決に向けて

どういった問題解決の方策が考えられるか？

- ・モチベーションを上げる
- ・チェックシート
- ・「広浅」マニュアル、FAQ
- ・宣言（強制力）
- ・考課
 - そのためには…？

“Jimpedia©”の提案

“Jimpedia©”とは...？

＝「**協業型インタラクティブ業務マニュアルデータベース**」

※完成イメージ



問題解決に向けて

“Jimpedia©”とは...？

=「協業型インタラクティブ業務マニュアルデータベース」

- ・常に更新
- ・基礎的レベルの作業までは内容詳述
→その先は「フロー」認識のレベルにとどめる
- ・書式(チェックリスト等PDF形式)・関連業務にリンク
- ・新人に更新させる
- ・内容チェックは担当(権限)者
- ・半期に一回管理職チェック
- ・記事記入者の記名・署名
(学生も閲覧のみ可)
(「ベストアイデア賞」等による報奨)

Jimpedia©によるメリット

<メリット>

- ・職員同士の説明根拠となる
=責任感の意識付け
- ・担当者だけの負担ではなくみんなで参加して作る
- ・学生を待たせない
- ・業務のロスが減る
- ・職員の能力が上がる
- ・情報共有につながる

理想の環境の獲得

⇒皆が情報を共有し、積極的に
コミュニケーションを取り合う業務環境！！

Jimpedia©によるメリット(補足説明)

<メリット>

- ・担当者だけの負担ではなくみんなで参加して作る
 - ①「みんなを巻き込む」「みんなで作る」業務環境、雰囲気醸成
 - ②新人～担当(権限者)～管理職、という流れへの参加による役職を超えた関わり
 - ③業務全体を俯瞰できる機会の獲得
 - 職場の一体感